

オジロトウネン

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

Calidris temminckii (Leisler)
チドリ目・シギ科

選定理由

県内では数少ない旅鳥として飛来する。福井新港の造成期にはほぼ毎年確認されたが、2002年以降の記録は6件ほどしかなく、今後の動向に注意していく必要がある。

種の特徴

体長14.5cm、ヒバリシギやトウネンと共に日本では最小のシギ類である。足は黄褐色で、胸は黄褐色に黒い縦斑があり、腹部の白色との境は明瞭、背にV字形の白線がある。県内では湛水休耕田や水田に稀に飛来し、ミミズや甲殻類等を食べる。

市町別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
											○	○		○			○

ウズラシギ

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

Calidris acuminata (Horsfield)
チドリ目・シギ科

選定理由

1980年代の福井平野では、4月下旬～5月中旬にかけて、数十羽の群れが定期的に確認された記録が残されているが、2000年以降は、10羽未満の群れが不定期に記録されているに過ぎず、近年、飛来数が急激に減少している可能性がある。

種の特徴

全長21.5cm。夏羽は頭上が赤褐色で、顔～胸と脇には黒い斑が密にあり、はっきりした眉線とともに識別点となる。水田やハス田、干潟等、泥底の浅い湿地に飛来し、ミミズや甲殻類、軟体動物、昆虫類、種子等を食べる。

市町別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
											○			○			○

サルハマシギ

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

Calidris ferruginea (Pontoppidan)
チドリ目・シギ科

選定理由

県内では数少ない旅鳥として、2002年以降、2件しか記録がない。本県には干潟や砂浜が少ないため、河口付近や周辺の水田への渡来等、今後の動向に注意していく必要がある。

種の特徴

全長21.5cm。夏羽では頭上・背・胸・腹は暗紅褐色で、嘴が長目で下に曲がっている。冬羽では頭上や背は灰褐色になる。春季の水田では赤褐色の夏羽が目立ち、ほかのシギ類との区別が容易である。干潟や河口付近の水田等の湿地に飛来し、ミミズや甲殻類を食べる。

市町別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
											○		○				

分布

日本には冬鳥または旅鳥として干潟や川岸・湿地に飛来するが多くない。県内では福井新港、九頭竜川下流域の坂井平野、鯖江市、越前市等での記録があるが少ない。

生息を脅かす要因

福井新港造成中の池の周辺を採餌と休息に利用していたが、新港の造成は三里浜の面積を縮小させ、シギ・チドリ類の中継地は悪化したままである。また、湛水休耕田や水田の湛水時期の縮小等で、水田内の飛来環境も失われている。中継地造成等の対策が必要である。

参考文献 福井県自然環境保全調査研究会（1998）、中村・中村（1995）、大西・真木（2000）、高野（2015）